

ISO14001 : 2015 規格要求事項 チェックリスト（質問リスト）

- ISO14001:2015 規格要求事項に準拠したチェックリスト(質問リスト)です。
このチェックリストを参考に、貴社環境マニュアルをベースに貴社なりのチェックリストを作成してください。
- ISO14001:2015 規格要求事項を詳細に分解し、137 個の質問リストをご用意いたしました。
- ISO14001:2015 は、Shall 事項が 78 個あります。それぞれの Shall に基づき、質問を作っています。
Shall:「～しなければならない」

株式会社ハピネックス

4.1 組織及びその状況の理解

組織は、組織の目的に関連し、かつ、その環境マネジメントシステムの意図した成果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を決定しなければならない ^{S01}。こうした課題には、組織から影響を受ける又は組織に影響を与える可能性がある環境状態を含めなければならない ^{S02}。

No	質問例	回答	確認記録	判定
1	どのような外部の課題、内部の課題があると、現在捉えていますか。			
2	それは文書化されていますか。文書化されているようであれば見せてください。			

4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解

組織は、次の事項を決定しなければならない ^{S03}。

- a) 環境マネジメントシステムに関連する利害関係者
- b) それらの利害関係者の、関連するニーズ及び期待(すなわち、要求事項)
- c) それらのニーズ及び期待のうち、組織の順守義務となるもの

No	質問例	回答	確認記録	判定
3	当社に関係する代表的な利害関係者として、どのような方を捉えていますか。			
4	彼らは当社に対してどのようなことを求めていますか(ニーズと期待)。			
5	それらのニーズと期待の中で、会社が順守しなければならないものは何ですか。			
6	それらのニーズと期待の中で、会社が順守すると決めたものは何ですか。			

4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定

組織は、環境マネジメントシステムの適用範囲を定めるために、その境界及び適用可能性を決定しなければならない S04。

この適用範囲を決定するとき、組織は、次の事項を考慮しなければならない S05。

- a) 4.1 に規定する外部及び内部の課題
- b) 4.2 に規定する順守義務
- c) 組織の単位、機能及び物理的境界
- d) 組織の活動、製品及びサービス
- e) 管理し影響を及ぼす、組織の権限及び能力

適用範囲が定めれば、その適用範囲の中にある組織の全ての活動、製品及びサービスは、環境マネジメントシステムに含まれている必要がある。

環境マネジメントシステムの適用範囲は、文書化した情報として維持しなければならない、かつ、利害関係者がこれ入手できるようにしなければならない S06。

No	質問例	回答	確認記録	判定
7	適用範囲を決定した際、どのようなことを考慮しましたか。			
8	(適用除外がある場合)○○部門が適用除外になっていますが、その理由を説明してください。			
9	適用範囲は、どこに文書化されていますか。			
10	適用範囲は、利害関係者に対してどのように公開していますか。			

4.4 環境マネジメントシステム

環境パフォーマンスの向上を含む意図した成果を達成するため、組織は、この規格の要求事項に従って、必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む、環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、かつ、継続的に改善しなければならない S07。

環境マネジメントシステムを確立し維持するとき、組織は、4.1 及び 4.2 で得た知識を考慮しなければならない S08。

No	質問例	回答	確認記録	判定
11	環境マネジメントシステム全体を示したプロセスフローチャートを見せてください。			
—	(個々のプロセスのインプット・アウトプット、必要な資源、手順、責任・権限等は、個々の箇条で確認する)			

5.1 リーダーシップ及びコミットメント

トップマネジメントは、次に示す事項によって、環境マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない^{S09}。

- a) 環境マネジメントシステムの有効性に説明責任を負う。
- b) 環境方針及び環境目標を確立し、それらが組織の戦略的な方向性及び組織の状況と両立することを確実にする。
- c) 組織の事業プロセスへの環境マネジメントシステム要求事項の統合を確実にする。
- d) 環境マネジメントシステムに必要な資源が利用可能であることを確実にする。
- e) 有効な環境マネジメント及び環境マネジメントシステム要求事項への適合の重要性を伝達する。
- f) 環境マネジメントシステムがその意図した成果を達成することを確実にする。
- g) 環境マネジメントシステムの有効性に寄与するよう人々を指揮し、支援する。
- h) 継続的改善を促進する。
- i) その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。

【注記】この規格で“事業”という場合、それは、組織の存在の目的の中核となる活動という広義の意味で解釈され得る。

No	質問例	回答	確認記録	判定
12	(以下は、トップマネジメントに対する質問) 全体的な質問です。トップマネジメントは環境マネジメントシステムにどの程度関与していると感じていますか。			
13	現状の環境マネジメントシステムが十分に効果を発揮していると、自信を持って言えますか。			
14	環境方針・環境目標が自社の現状並びに今後の方向性と合致していますか。			
15	会社の事業活動とは関係なく、ISO のために行っているような活動はありませんか。または、その観点で、誰かに見直しを指示したことがありますか。			
16	環境マネジメントシステムに必要な資源(設備や人など)について、十分に提供できていますか。			
17	環境マネジメントシステムへの取り組み、環境マネジメントシステムで決めた仕事の進め方を守ることの重要性を、どんな機会に、どのように伝えていますか。			
18	環境マネジメントシステムは望む成果を發揮できていますか。			
19	環境マネジメントシステム運用の中心となっている従業員たちに対して、どのような支援をしていますか。			
20	環境マネジメントシステムの継続的改善について、トップ自身どのように取り組んでいますか。			
21	部門管理者に対して、どのような支援をしていますか。			